

## 打って出る司書

県立図書館の司書が専門的知識や経験を活かして県内各地に出向き、「打って出る司書」として秋田県の図書館活性化のため活動中です。いくつかの取り組みをご紹介します。

### ■市町村図書館への支援

県立図書館の大きな役割の一つに、県内の市町村図書館の支援があります。年間合計で3万冊近くにもなる資料の貸出や職員研修の実施、巡回訪問など、県内の図書館活性化のための取り組みを行っています。今年度は、県内に70館ある公立図書館・公民館図書室を150回訪問し、業務に関する様々なアドバイスと館内レイアウトの改善・資料展示の工夫への手助けを行うほか、市町村の希望に応じた出前研修等を実施しています。



出前研修の様子

### ■雑誌スポンサー制度の実施

県立図書館で提供している雑誌の充実と県内の企業・商店等の情報発信を兼ねて、今年度から雑誌スポンサー制度を導入しました。

「打って出る司書」の広報活動により、現在20社の企業から雑誌を寄贈していただいている。県立図書館にとっては地元産業の支援と資料収集、企業にとっては社会貢献活動と広報につながるこの制度を、これからも続けていきたいと考えています。



雑誌カバーにスポンサー  
企業名のラベルを貼付

## 展示・講演のご案内

### ■平成24年度第4回特別展示 伊藤彌太～表現の軌跡～

期間：平成24年12月20日（木）～平成25年1月30日（水）10：00～17：00

会場：2階 特別展示室

近代美術館共催。大館市出身の洋画家伊藤彌太（明治25年～）の60年あまりの画業を戦後国画会へ出品した作品を中心に紹介します。

### ■第2回読書のつどい 加藤正人講演会「文学から映画の世界へ」

日時：平成25年2月2日（土）13：00～15：00

会場：秋田市文化会館

県総合政策課県民読書推進班・県立図書館共催

2012年公開の映画「天地明察」等を手がけた能代市出身の脚本家・加藤正人氏の講演会です。

## 県立図書館だより 76号

発行月 平成24年12月  
編集発行 秋田県立図書館 TEL 018-866-8400  
住所 〒010-0952 FAX 018-866-6200  
秋田市山王新町14-31



パソコン用URL  
携帯用URL  
図書館全般についてE-mail  
資料のお問い合わせE-mail

<http://www.apl.pref.akita.jp>  
<http://www.apl.pref.akita.jp/m/>  
apl@apl.pref.akita.jp  
jouhou@apl.pref.akita.jp



12月28日（金）～1月3日（水）  
は、年末年始期間のため休館となります。返却はブックポストへどうぞ

秋田県立近代美術館長 河野元昭

もっと秋田県立図書館を利用しましよう。フルツと立ち寄ってみましょう。  
街中にあるこんな素晴らしい施設を、自分のために使わない手はありません。  
読んでみたい本をそっと書架から取り出し、あるいは手から借り出して、ほとんど物音一つしない空間のなかで、その世界に浸つてみる。ここに図書館の醍醐味があります。高校から大学教養学部時代にかけて、私にとての図書館とはこんな存在でした。その後、日本美術史を専攻するようになると図書館は資料を探す場となりました。言うまでもなく図書館は資料の宝庫、県立図書館の充実振りも大変すぐれたものです。  
秋田関係は当然ながら、それ以外の資料も精選され、蓄積されてきました。例えば「國華」です。秋田県立近代美術館の仕事を手伝うようになったあと、私はすぐ県立図書館をお訪ねしたのですが、創刊号から最新号まで完全にそろっていることに深い感銘を覚えました。「國華」は明治21年に岡倉天心が創刊した世界最古の美術雑誌、このような形で所蔵している県立美術館はそれほど多くないでしょう。秋田県人としてとても誇らしく思いました。決してその編集委員を務めているからではありません。県立図書館は資料館でもあるのです。  
そのようなわけで、平成21年には特別展示室を借り、國華展を開催しました。かつて「國華」に紹介された県立近代美術館所蔵作品や、ゆかりの画家の作品です。その所載号と一緒に展示するというコラボレーションでした。私も講演と一緒に展示するという機会が与えられ、好評裡に終わりました。  
他にも年2回、このような特別展を企画しているのですが、図書館主催の行事やイベントも実際にたくさん行なわれています。これらに参加することも、新しい図書館の楽しみ方でしょう。  
県民の皆さん、もっと秋田県立図書館に足を運び、活用しましょう。オールハーナーの秋田県立図書館に足を運び、活用しましょう。

（笑）

秋田県立図書館広報



## 県立図書館だより

Vol. 76  
平成24年  
12月発行



イラスト:Nozaki Fumitaka

秋田県立図書館は素晴らしい

## 秋田ふるさとセミナー

■読書の秋、図書館もイベントが目白押しでした。県立図書館主催の10月26日（金）「秋田ふるさとセミナー」では「日本美術院と高橋萬年」と題し、県立近代美術館の河野元昭館長にお話いただきました。



秋田ふるさとセミナー



秋田をまなぶ講座シリーズ

■秋田県金融広報委員会と共に催した「子育て世代のライフプラン」は11月17日（土）、12月1日（土）の2回シリーズでの開催となりましたが、参加者からは「より詳しく知りたい」「シリーズ化して欲しい」などの要望が寄せられ、生活課題支援へのニーズの高さが感じられました。



子育て世代のライフプラン

## 「冬の秋田を楽しみませんか？～鳥取県立図書館との交換展示～」

交換展示とは、図書館の所蔵資料や自治体のポスター、パンフレットを交換して、お互いの県を紹介しあい、観光に結び付ける取り組みです。これまで秋田県立図書館では、宮城県、奈良県、福井県と交換展示を行ってきました。

今年度は鳥取県との交換展示が企画され、本年5月17日～6月28日、当館で「山陰海岸とジオパークの魅力」展が行われました。鳥取県立図書館との連携によって、鳥取県の魅力を写真やポスターで紹介し、多くの来場者がありました。

秋田側の展示として、「11月9日（金）～12月27日（木）」鳥取県立図書館で「あきたびじょん～冬の秋田を楽しみませんか？」と題して

秋田県の観光をPRする展示が行われました。秋田県のキャッチコピー「あきたびじょん」のポスターを中心に、県内各地の小正月行事や観光ポスター、パンフレット、チラシ、なまはげの面や民芸品等が展示されました。

パンフレットやチラシは早々に品切れが出る等、好評だったとのことです。違う地域の文化や自然、風景に触れるこことできる「交換展示」に、今後も様々な図書館や団体と連携しながら、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



鳥取交換展示写真in秋田



鳥取交換展示写真in鳥取

## —図書館システムの更新に伴う新たなITセンターサービスのご紹介—

### 秋田県デジタルアーカイブ

秋田県デジタルアーカイブは、県立図書館をはじめとした県内の各機関が所有するデジタル化資料やデータを一元的に検索・閲覧できるポータルサイトです。

平成24年12月現在、県立図書館及びあきた文学資料館、県立近代美術館の画像・音声・テキストデータが約52万件登録されており、今後も、県立博物館、県埋蔵文化財センター、県公文書館のデジタル化資料が登録され、様々な資料が検索・閲覧できるようになります。

インターネットに接続された機器をお持ちであれば、どなたでも無料でご利用いただくことができますので、各機関のトップページからアクセスしてください。

今後は、デジタル化資料を多数所有している各市町村にもデジタルアーカイブに参加してもらい、地域に根ざした貴重な資料を広く公開することを目指すとともに、学校での授業等で活用してもらうことも期待されます。



秋田県デジタルアーカイブのトップ画面。ここから様々な検索が可能になります。



秋田県指定文化財「御曹子島渡り」のデジタル資料。高精細画像により拡大しても鮮明に表示されます。

### 電子書籍提供サービス



タッチ操作で利用も簡単、操作も自由に

平成24年12月現在、一般雑誌・書籍が約7000冊、県立図書館所蔵貴重資料が約1300冊の計20000冊を用意しており、今後も提供資料は増やす予定です。

ご利用になるには、県立図書館への利用登録（図書利用カードの発行）を行い、パスワードの発行を受けてください。また、必要機器としては、スマートフォン・タブレット端末とインターネット環境が必要です。

閲覧には専用アプリ（機器で電子書籍を閲覧するためのソフト）をインストールする必要があります。詳しくは県立図書館のホームページをご覧いただくな、直接お問合せください。



スマートフォン、タブレットでご利用いただけます。